

教育目標 心身ともに健やかで、心豊かな子供を育てる

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況
夢中になって遊ぶ子供を育てる	遊びの中でみえてきた学びを読み取り、適切な環境や援助を探る	豊かな体験活動	遊びの中で、子供が自ら考え、工夫することができるよう環境構成を行った。園庭の遊具や用具を精選したことで、子供が遊びを自ら考えだすことができていた。
		地域散策や園外保育の充実	遠足で交通公園に、また地域の和歌山城公園、中消防署、こども科学館等にも園外保育に出かけた。本物に触れたり、季節を感じたり、自然に触れたりする等の活動を行った。県立博物館で園児の絵画の展示も行った。
		園内環境の工夫	花壇やプランターで、四季折々の花や野菜を育て、遊びに使えるような環境構成をしたり、食育にいかしたりした。園内の斜面を生かし、子供が工夫して芝すべりができる環境を整えた。
	豊かな感性や心身の育成	自然とのふれあい	春には、花で色水遊びをし、夏は水遊び、秋には落ち葉等を用いて遊びに生かしている。JAの協力をいただき、ブロックリー、大根の栽培を通して食育にも力を入れた。袋栽培に力を入れ、ブロックリー部門で特別賞を受賞した。
		生き物とのふれあい	園庭のバッタや幼虫やダンゴムシにも興味をもって捕まえたり、観察したりする遊びの教育環境を整えた。また、ウサギの飼育では、かわいがっていた一羽のウサギとの別れがあり、その経験も子供の心の教育となった。
		様々な人とのふれあい	近隣の和歌山大学附属小学校1年生と5歳児の年間を通しての交流遊びを行った。また3年生も4歳児との動物園での飼育経験の交流を行った。また、わくわくタイムでゲストティーチャーの方も来てくださっている。
	子育て支援の充実	保護者への啓発	行事の様子や子供たちの活動の様子などをホームページや写真の掲示を通して、園での取組みを発信している。園だよりやクラスだよりも発信している。保護者同士の交流も盛んで、積極的に園行事に参加してくれている。
		保護者との連携	附属中学校音楽部の親子コンサートや親子での体操教室も行った。降園時等に子供の様子や活動の様子を伝えたり、講演会を開催したりして、家庭との連携を深めることに努めている。
		親子のふれあいの場の提供	未就園児の集いを行って、親子のふれあいの場を提供した。年間計画を立てて、集いを実施することで幼稚園に足を向けてくれる人数が増えている。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

- 細やかに子供の様子を見て何かあるとすぐに対応していただけるので、安心して通うことができます。担任の先生はもちろんのこと、多くの先生方に見守っていただけて心強いです。
- 子供の思いをきちんと受け止めてくださっている安心感、信頼があり、生きていくうえで、土台となる自己肯定感が非常にしっかりと育まれていることを嬉しく思います。
- いつも子供にいろいろご配慮いただいた保育をさせていただいています。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

本園は小学校と併設していない単独園ということもあり、特色を生かしながら様々な活動を教育に取り入れている。園児が遊びの中で学ぶということを大切に、子供主体の遊びや園生活ができるような配慮と援助をしている。3歳児から5歳児までの3年間での学びや経験の積み重ねを大切にした教育を行っている。また、放課後の預かり保育を18時までとし、就労している保護者の方に利用してもらっている。地域への発信として、今後も未就園児の集いに参加して下さる親子に幼稚園について知ってもらう機会を大切にしながら幼稚園についてお知らせしていきたい。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

- 園全体が温かい雰囲気先生も園児も明るく元気な姿が素晴らしい。
- 遊びが学びということを大切にした活動をし、その中で園児に自己決定させる部分が個々それぞれの学びとなっていた。
- 遊びを通じて自主性を育むために細やかな目配りが必要であるが、施設の維持管理を含めた運営に努力されている。
- 年齢差なく、のびのびと交流できている様子が見られた。
- 園内で野菜や果物を育てて収穫していることが子供たちの食育につながっている環境が良かった。
- 子供の興味、関心を大切にしながら進めるべきことへの誘導がなされている様子を感じ、考え話し合う力がついていそうな雰囲気が感じられた。
- 幼稚園の給食費が無償化になるとよい。